



第41回歴史講演会

敵将も讃えた ペリリュー島の戦い 中川州男中將

■太平洋上に浮かぶパラオ諸島。そこにサンゴ礁でできた小さな小島ペリリュー島がある。その島には大東亜戦争末期、東洋最大と言われた日本軍の飛行場があり、日本にとってペリリュー島はフィリピン防衛の防波堤だった。

■昭和19年9月15日、今から70年前に約42,000人の米軍がパラオのペリリュー島に上陸。それを迎え撃ったのが中川州男大佐率いる約12,000人の日本軍守備隊であった。

■圧倒的な戦力の差にも拘わらず72日もの間島を守りぬいた日本軍の戦いぶりは米太平洋艦隊司令長官ニミッツを驚嘆させた。

■島民にとって日本軍は「英雄」であり、今でも彼らの勇気と敢闘を賞賛する歌「ペリリュー島の桜を讃える歌」が歌い継がれている。

■祖国を、家族を護るため勇敢に戦ったご先祖様の歴史を学び感謝する事が、今を生きる私達の務めではないでしょうか。**是非奮ってご参加下さい！お待ちしております。**



「宮城県の偉人を偲ぶ」

※講演後、ペリリュー島の南に位置するアングウル島にて米軍を迎え撃ち、壮絶なる戦いぶりで米公刊戦史に名を残した**島武大尉**(宮城県牡鹿半島出身・陸士55期)を偲び顕彰と遺品の展示を予定しています。

案内役：渡辺ひろし氏
(郷土偉人の研究、招魂に尽力する)



諸国から訪れる旅人たちよ
この島を守るために日本軍人が
いかに勇敢な愛国心をもって戦い
そして玉砕したかを伝えられよ
米太平洋艦隊司令長官
C. W. ニミッツ

写真：オレンジ・ビーチ

と き： 平成26年 **11月30日(日)**
午後6時30分～9時

と ころ： **仙台市シルバーセンター**
6階・第2研修室

青葉区花京院1-3-2
仙台駅西口徒歩8分・東北電子専門学校隣り

参加費：一般1,000円 学生無料

主 催：宮城ビジョンの会 TEL022(285)3383

後 援：宮城県教育委員会・産経新聞社東北総局
日本会議宮城県本部

講師：岡田幹彦氏(日本政策研究センター主任研究員)

■プロフィール
昭和21年北海道生まれ。国学院大学中退。学生時代より日本の歴史、人物の研究を続け、月刊『明日への選択』に人物伝を連載中。「歴史街道」「歴史通」などにも寄稿。平成21～22年産経新聞に「元気のでる歴史人物講座」を連載。全国各地で歴史人物の講演活動を行う。■著書『東郷平八郎』『乃木希典』『小村寿太郎』(展転社)、『日本を護った軍人の物語』(祥伝社)、『日本の誇り103人』(光明思想社)他多数

～プログラム予定～

- * 受付開始・・・18:00
- * 開会宣言・・・18:30
- * ドキュメンタリー映画「天翔る青春」より、ペリリュー島に関する部分上映・・・18:40～18:55
- * 岡田先生講演・・・18:55～20:15
- * 島武大尉顕彰・・・20:15～20:35
- * 閉会の辞・・・20:35～

時間は多少変更することがあります。